クラウドスケッター

CT-AR16

設置マニュアル

Ver.2.0

クラウドテレコム株式会社

Cloud Telecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

Confidential

改訂履歴

Rev.	作成日	改定項目	改定内容
1.0	2025 年 12 月 1 日	初版	
2.0	2025 年 12 月 5 日	2 版	一部画像を差し替えました。

©2025 Cloud Telecom Co., Ltd. All Rights Reserved.
本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著者からの許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

注意事項

・本サービス及び本マニュアルのご利用条件は、モバビジサービス利用規約に準じます。
・本サービスの仕様、概観及び本サービスに含まれるものは、予告なく変更されることがあります。
・本マニュアル記載の会社名または製品名は各社の商標または登録商標です。
・本マニュアルに関する著作権は、クラウドテレコム株式会社に帰属します。
・本マニュアルは、本サービスのライセンス契約に基づき開示されるもので、本マニュアルを第三者に閲覧または譲渡することはできません。
・本マニュアルの記載内容は、予告なく変更されることがあります。
・本マニュアルの記述でお気づきの点があればご連絡ください。

内容

1. はじめに……P.4

2. 機器組立ておよび配線と電源投入……P.5

3. 管理画面ログイン（必要に応じて）……P.7

4. 各設定項目について（必要に応じて）……P.8

5. 設置後の動作確認（必ず行ってください）……P.11

6. 「General Settings」の設定確認（必ず行ってください）……P.13

7. その他備考……P.14

1. はじめに

(1) 機材が届いたら同梱物が揃っているか確認を行ってください。

足りないものがある場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

① 本体
② AC アダプター
③ アンテナ
　※幅広が mobile、WiFi 表記が WIFI 用
④ 設置後動作チェックシート

CT-AR16

◆クラウドテレコム サポートセンター：https://support.mobabiji.jp/ivr/
Tel：03-6416-1182（ユーザー様 窓口）
※販売代理店専用窓口については、各販売代理店管理者様へお問い合わせください。
Mail：support@mobabiji.jp

受付時間：平日 10 時～18 時、メールは 24 時間受付にて順次回答いたします。

(2) CT-AR16 の AC アダプターはピン端子となっております。

断線の恐れがありますので、ケーブルを持って強く引き抜かないようにご注意ください。
※端子の根本を持っていただけば軽い力で抜き差しが可能です。

(3) 初回起動時はアクティベーション動作が入ります。

初回起動後は SIM の設定を読み込むためのアクティベーション動作が走ります。
起動から 5 分程は電源を落とさないようにご注意ください。

2. 機器組立ておよび配線と電源投入

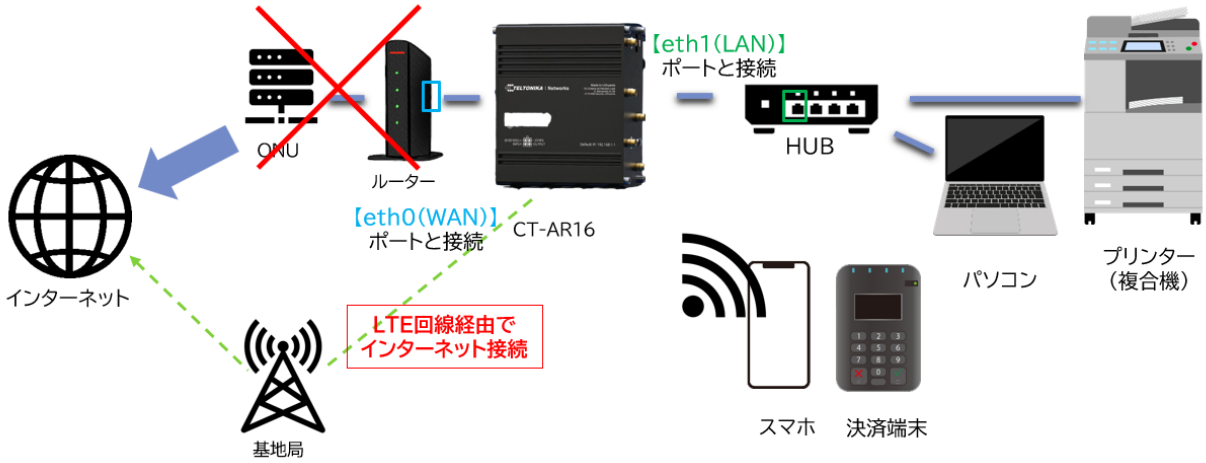
① クラウドスケッター（CT-AR16 の場合）にアンテナを設置する

差込口（オス・メス端子）に応じているので、**対応するアンテナを取り付け**てください。
※規格が異なりますので、無理に差し込むと破損の原因となります。ご注意ください。

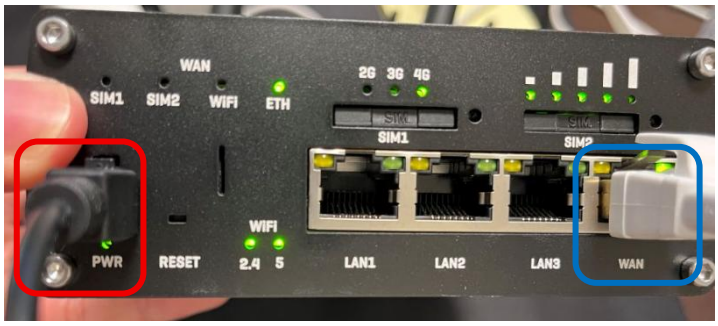
② 光回線が繋がっているルーターの直下で、まずは eth0（WAN）に LAN ケーブルで接続を行う。

※1.CT-AR16 の WAN 側にて光回線の故障検知動作（インターネット接続可否確認）を行います。
※2.**インターネット構築のマネジメントはサービス対象外**となります。
主な機器構成パターンについては、「7.その他備考」もご参照ください。

★基本の構成（既存のネットワーク上流に設置する場合）

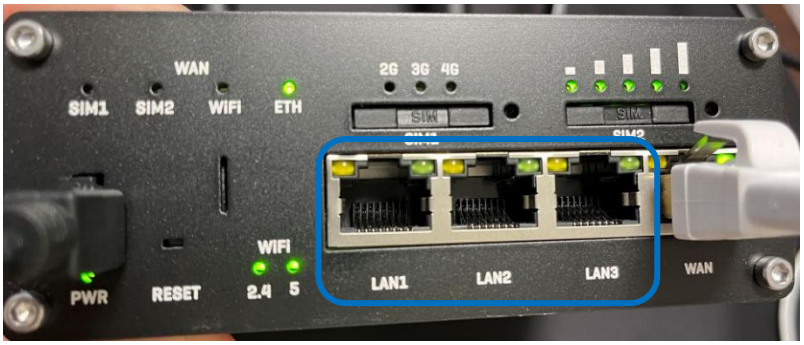


③ AC アダプターで CT-AR16 の電源を入れる。



④ 電源を入れたらアクティベーションが完了するまで 5 分ほど待つ。

⑤ ランプの点滅が落ち着いたら、eth1（LAN）からインターネット接続したい HUB や UTM を含めた機器類を接続する。



⇒これで各機器が既にインターネット接続出来ている場合は、

「5.設置後の動作確認」に進む。

3. 管理画面ログイン（必要に応じて）

・前頁までででインターネット接続が出来ていない場合

・UTM 等との併用で、払出 IP アドレス帯に関しての設定・確認が要る場合

① CT-AR16 の Wi-Fi ネットワーク、または LAN 側に PC を接続する。

※Wi-Fi については本体裏側の SSID 等のシールを確認して接続する。

② 自身の PC の IP アドレスが「192.168.88.××」となっていることを確認する。

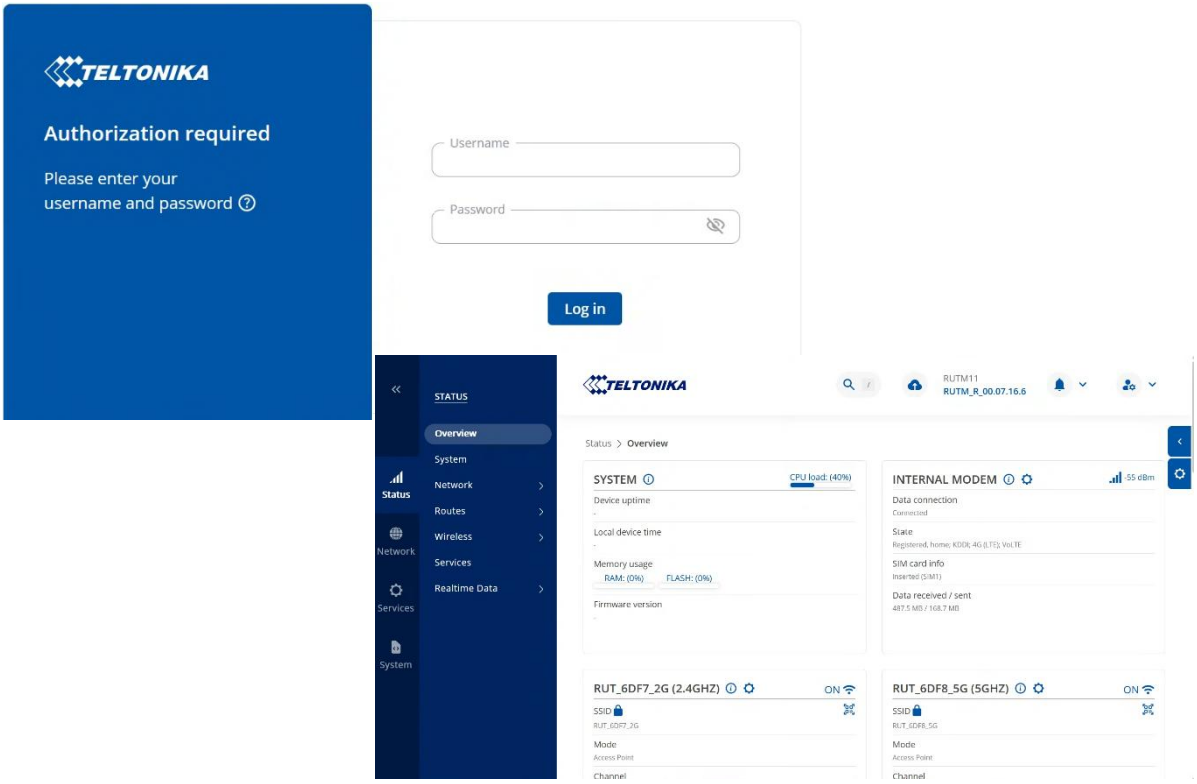
※コマンドプロンプトであれば ipconfig を叩く事で確認可能です。

```
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::fe68:75c8:a9e:ea80%5
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . . .: 192.168.88.23
サブネット マスク . . . . . . . . . .: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . . . .: 192.168.88.1
```

③ インタネットブラウザで「192.168.88.1」を URL 欄に入力して検索する。

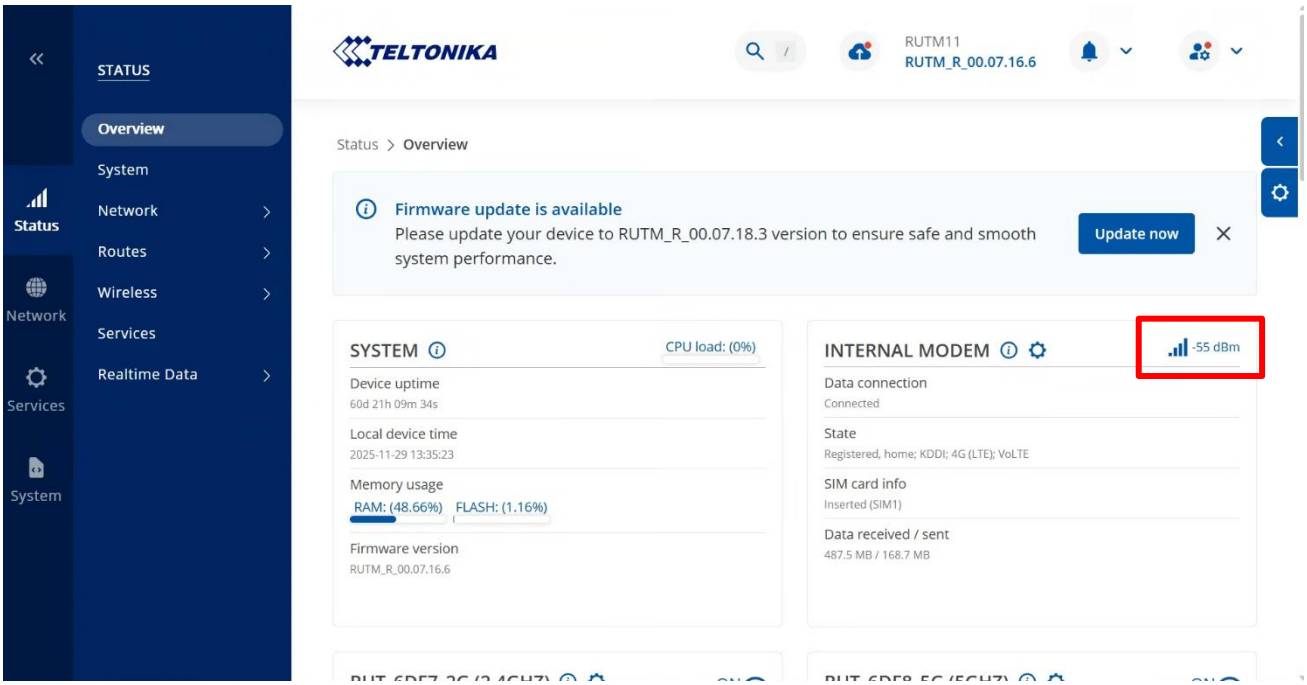
管理画面が出たら「**ID：admin パスワード：admin12345!**」でログインをする。
※本体背面の Username/Password は原則使用しません。

④

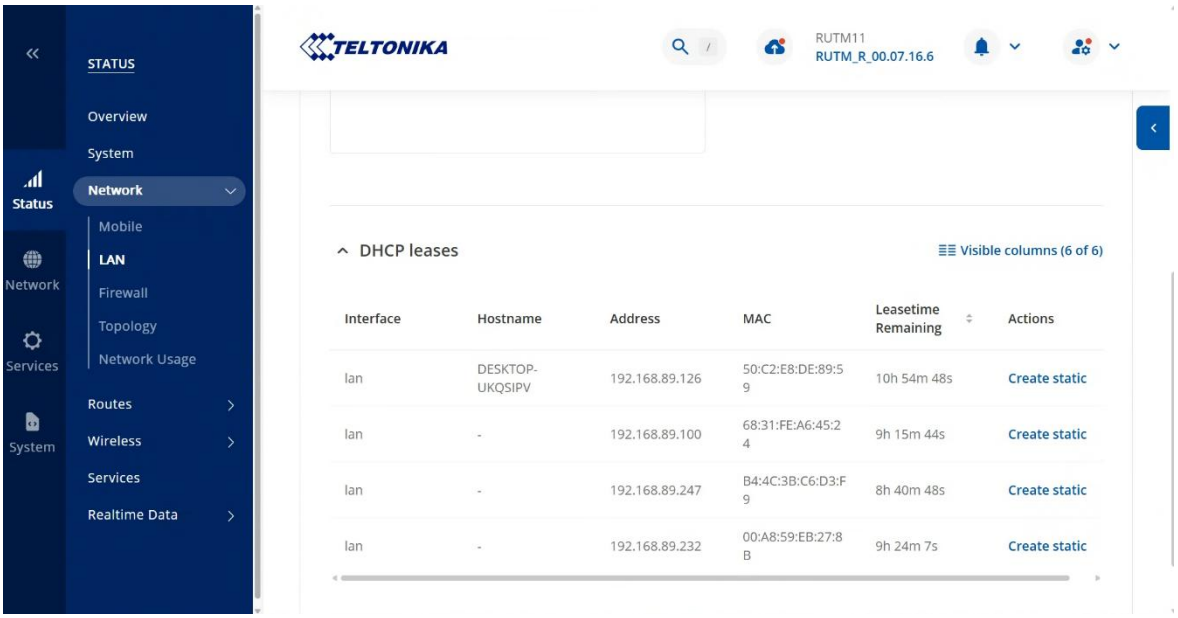


4. 各設定項目について（必要に応じて）

① **Overview 画面の** INTERNAL MODEM Status で
「State：Registered, home: ××××」となっていれば SIM は正常に接続されています。
「通信状態」:-●●dBm で評価されるので、**なるべく数値が低くなる場所へ配置してください。**
（ロッカー・ラック内は避け、窓際などまで配線を伸ばす等）



② **Status 画面 ＞ NetWork ＞ LAN** にて各機器へ IP アドレスの払い出し状況を確認できる。
※デフォルトでは DHCP で払い出しがされております。

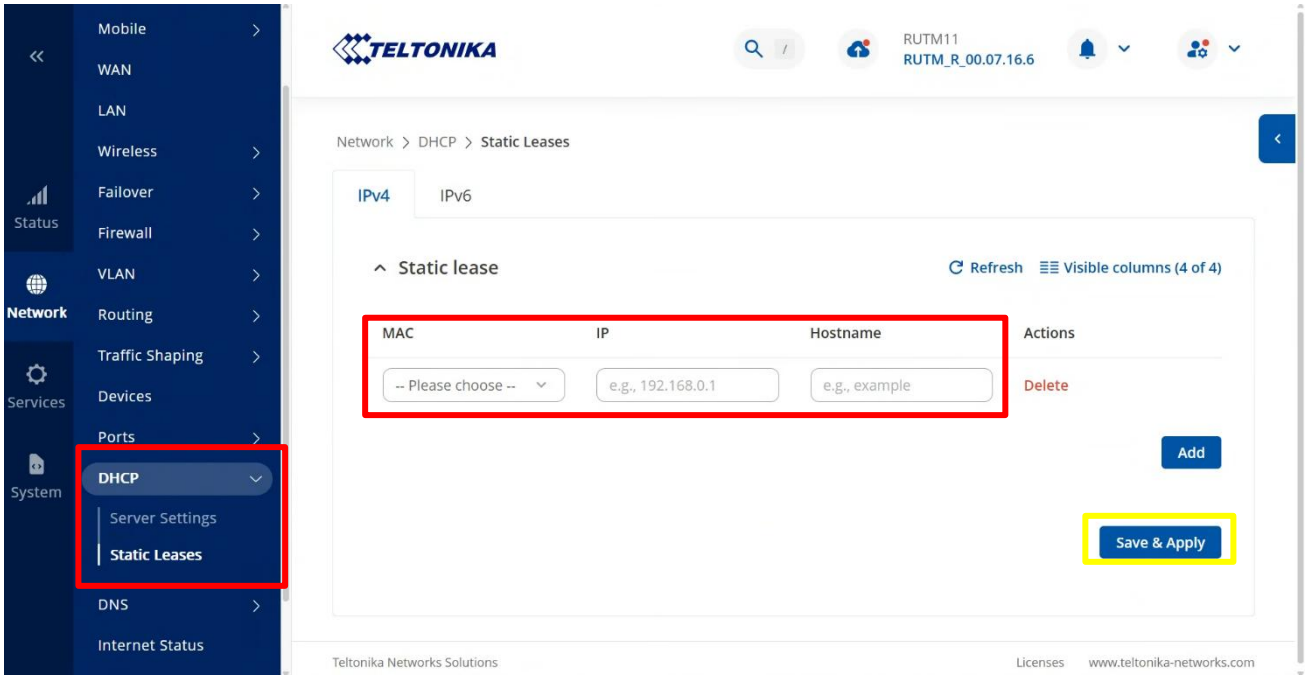


※UTM 等については、基本的にブリッジモードで下流へ設置を行ってください。

※UTM 等の機器についても DHCP クライアントとして動作させる場合は、セグメントを分ける構成をご検討ください。CT-AR16 のサブネットは 192.168.88.0/24 の運用となっております。
動作の保証は致しかねますので予めご了承ください。

※「7.その他備考」もご参照ください。

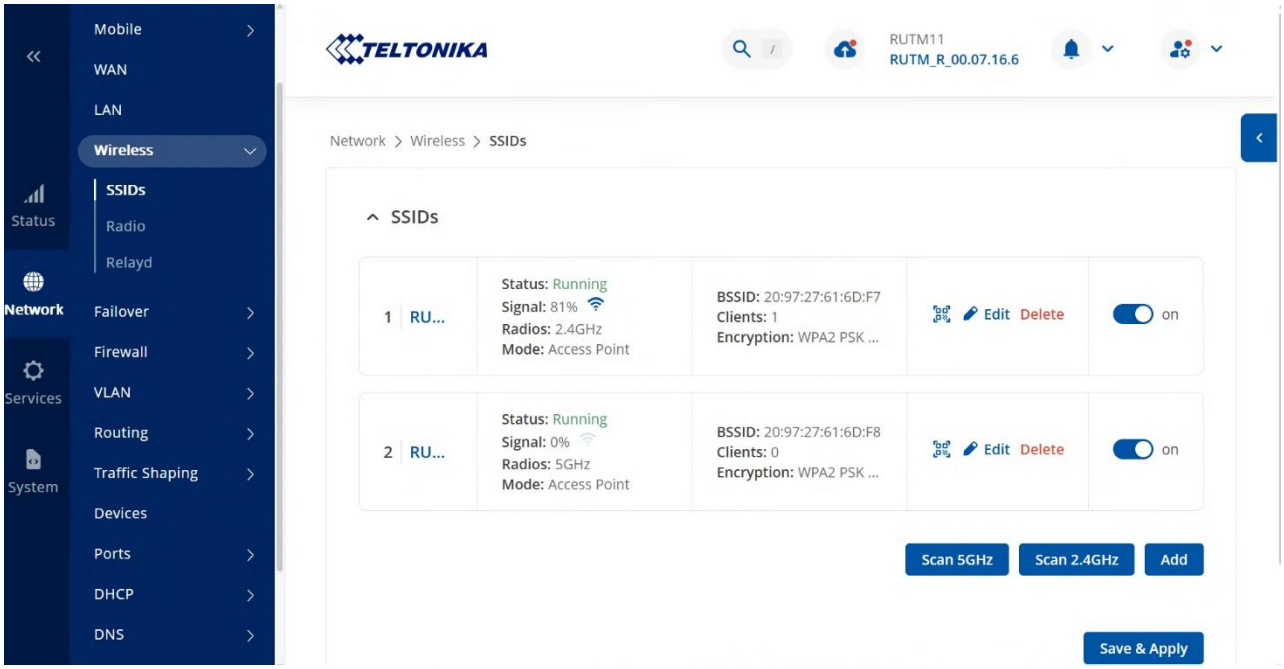
③ **固定 IP アドレス**の払い出しを行う場合は、
NetWork 画面 ＞ DHCP ＞ StaticLeases にて “Add” を押して
MAC アドレス / IP アドレス（192.168.88.101～244） を指定して
「Save＆Apply」を押すと保存がされて**想定通り機器 MAC と IP が表示されれば OK** です。



④ SSID/パスワード/セキュリティモードの変更

※社内ネットワーク管理ポリシー等による特別の理由が無い場合は行わないでください。

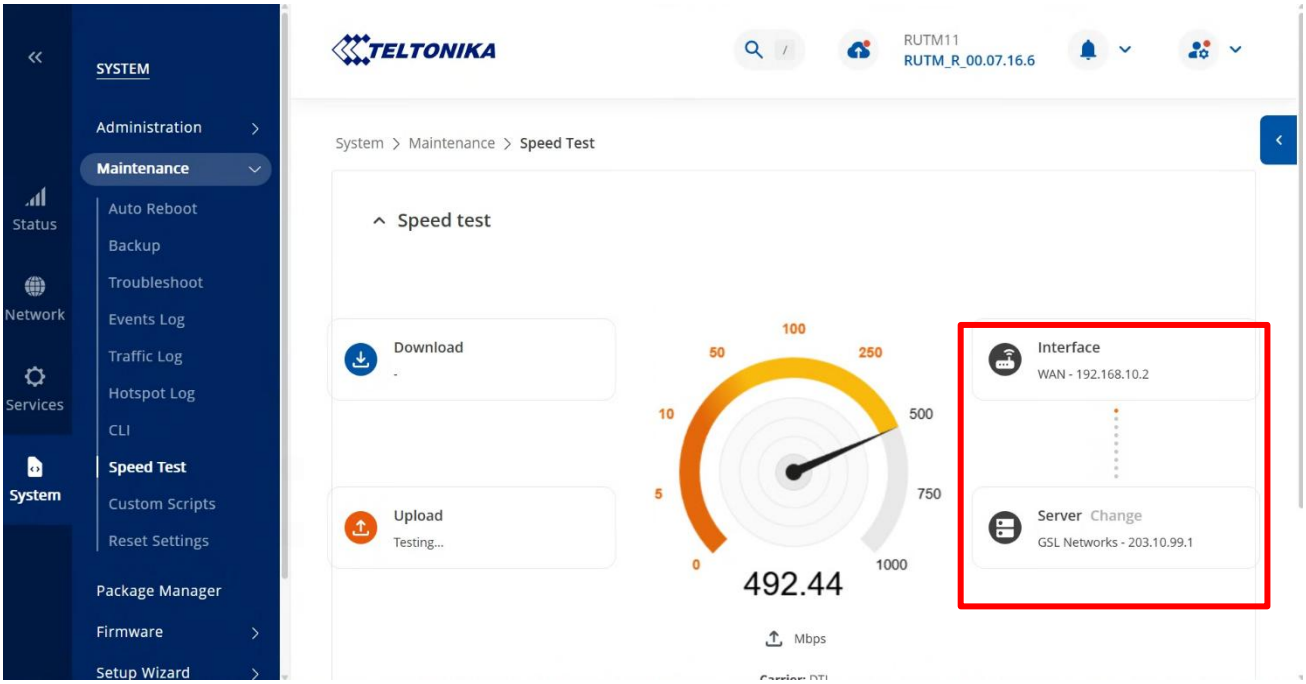
NetWork 画面 ＞ Wireless ＞ 「SSIDs」にて変更は可能ですが、変更された場合の動作は保証しておりません。
また、本体裏面の接続情報の再発行は行えませんので、ご自身で管理を行ってください。



※デフォルト状態で Wi-Fi へ接続される場合は、本体裏面の「WIFI PASSWORD」を使用して接続してください。

5. 設置後の動作確認（必ず行ってください）

① **SYSTEM 画面 ＞ Maintenance ＞ SpeedTest** にてインターネット接続をテストする。
→CT-AR16 の**上流にあるインターネットルーターのサブネットにて接続されれば OK** です。



② CT-AR16 の **eth0（WAN）側の LAN ケーブルを一度抜く。**
※これにより上流からの通信が断する、光回線障害時と同様の状況を再現しています。

③ **同様に SpeedTest をして**、先ほどの上流インターネットルーターからはスピードが落ちますがインターネット接続されていれば、SIM へのフェイルオーバーが成功しています。
※切り替わりまで 10 秒ほどかかりますので、少し待ってお試しください。

④ CT-AR16 の **eth0（WAN）側の LAN ケーブルを再度差し込む。**

⑤ **同様に SpeedTest をして**、①と同じ表示がされれば元に戻っています。

⑥ **Wi-Fi へ接続される場合**は、本体裏面の「WIFI PASSWORD」を使用して接続してください。

⑦ ランプ状態による通信状況の判別

・通信状況に関わらないランプ：

PWR→常時点灯

アンテナ→電波状態に応じて常時点灯 ※なるべく **3 本立つ場所へ設置**してください。

★通信状況に関わるランプ：

・LTE（4G）

→【ETH0（光回線）**正常に稼働中**】**ゆっくり点滅**（光回線通信中）

→【ETH0（光回線）**故障中**】**素早く点滅**（LTE 通信中）

・WAN ランプ

→【ETH0（光回線）**正常に稼働中**】**ETH/SIM1 共に点灯**

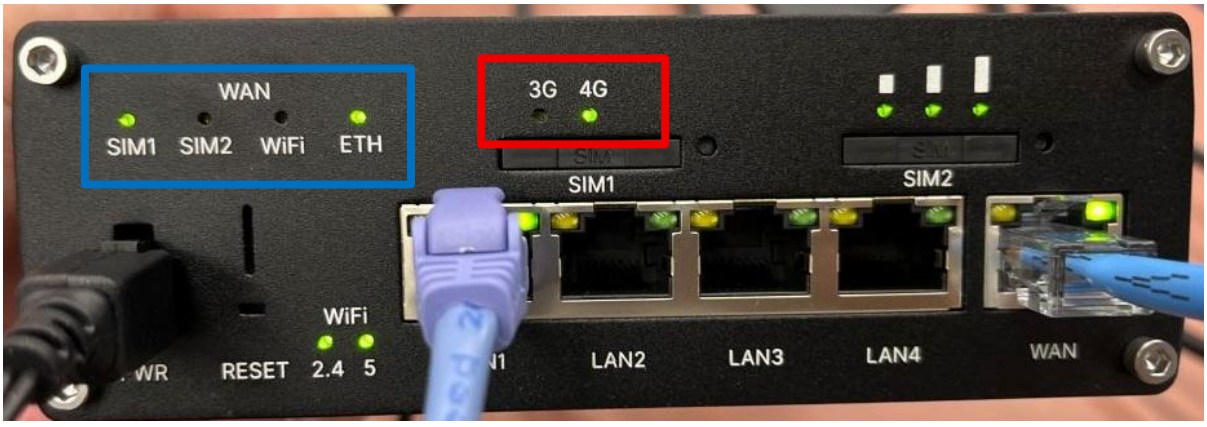
（**+4G がゆっくり点滅** であれば光回線通信中）

→【ETH0（光回線）が**回線故障中**】**ETH/SIM1 共に点灯**

（**+4G が素早く点滅** であれば LTE 通信中）

→【ETH0（光回線）が**物理故障中**】**SIM1 のみが点灯**

（**+4G が素早く点滅** であれば LTE 通信中）



6. 「Failover Multiwan」の設定確認

① NetWork 画面 ＞ Failover ＞ 「Multiwan」を確認する。

※基本的に触る必要がありません。

・WAN Status：Online

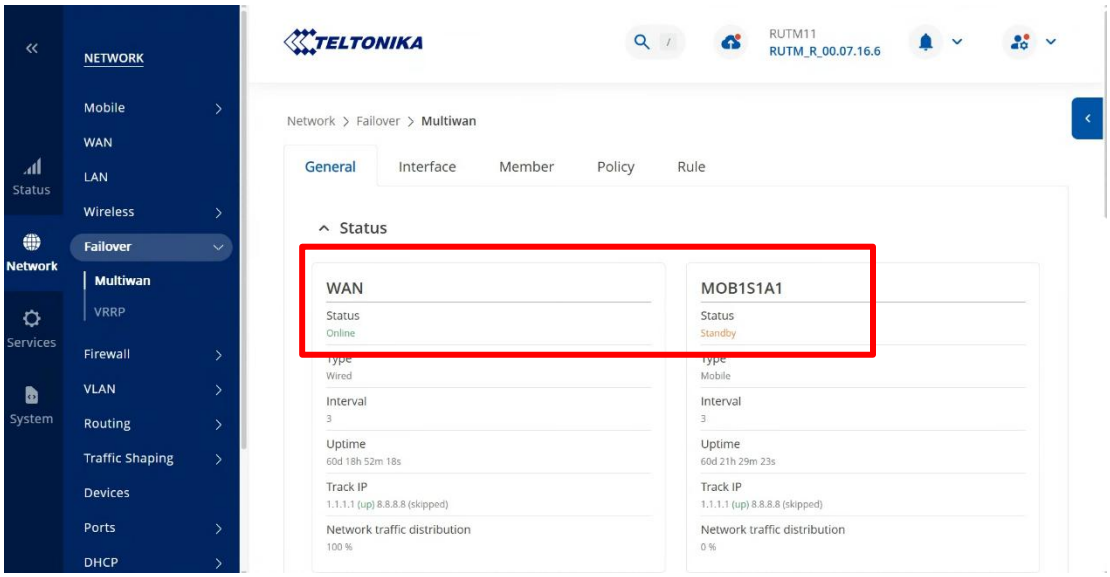
・MOB1S1A1：Standby

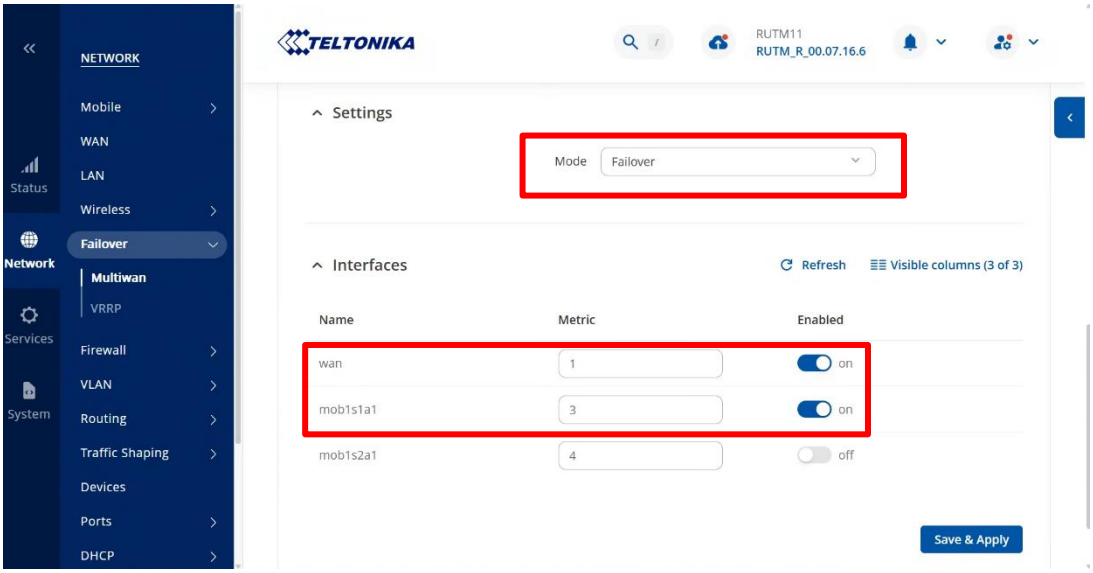
・Settings Mode：Failover

・Interface：wan、mob1s1a1 → ON

となっていることを確認してください。

※これ以外での動作は保証しておりません。誤って設定を変更された場合は元に戻してください。

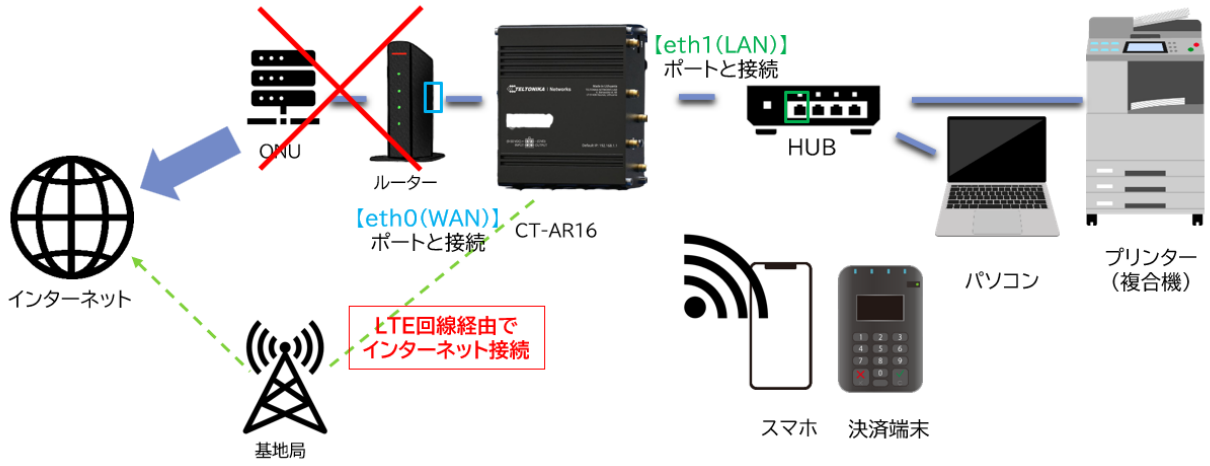




※上位ルーターからインターネットの接続ができず、SIM のみの通信になってしまう場合は、
Failover Multiwan が上記と同じ設定になっているか確認してください。

7. その他備考

① -1. 既存のネットワークで上流に設置する場合（UTM 無し/機器台数少）

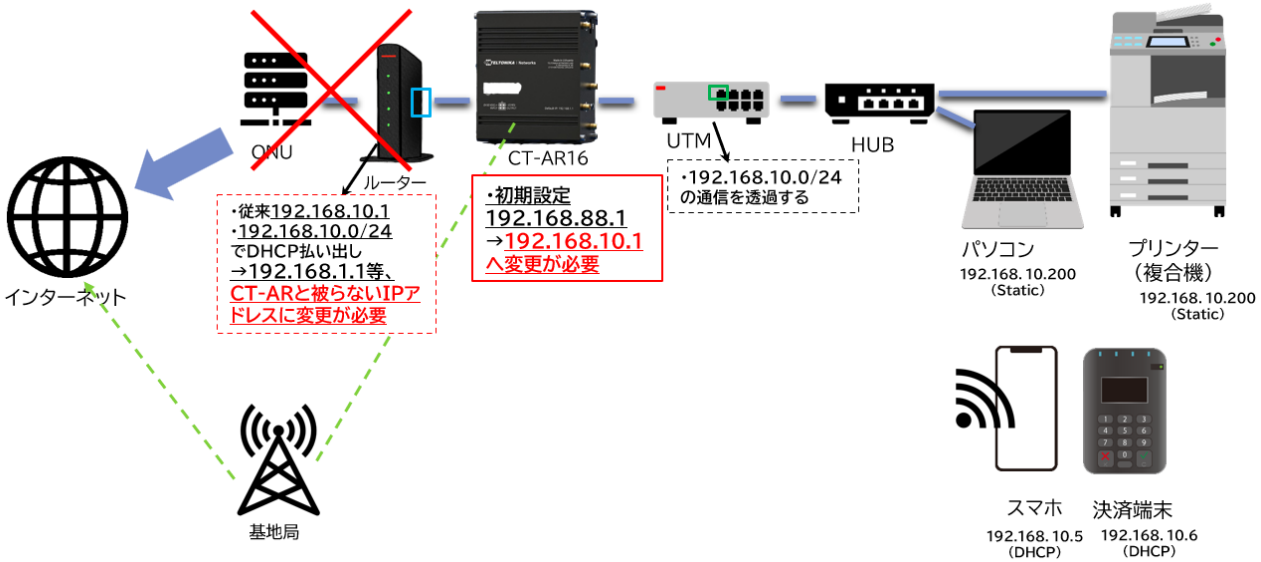


① -2. 既存のネットワークで上流に設置する場合（UTM 有り/機器台数少）

・既存ネットワーク側も設定変更が必要な場合が殆どですので、ご注意ください。

・UTM 等が IP アドレス帯によるファイアーウォールとなっている場合、
CT-AR の払い出し IP アドレス帯を UTM で透過できる値に変更してください。

・上流のルーターの IP アドレス帯は CT-AR と被らない値に変更してください。



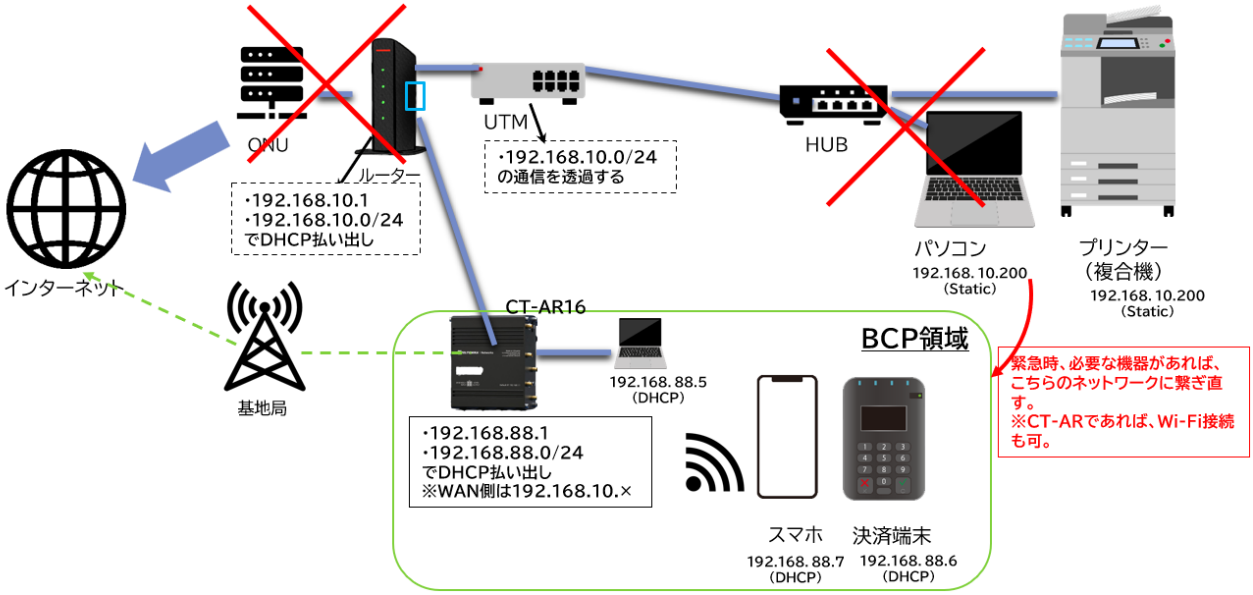
② **既存のネットワークで下流に接続する場合　（既存ルーターへのぶら下げ型接続）**

・既存のネットワーク設定を変えずに設置が可能です。

・インターネットが切断すると業務に支障が出る機器は予め CT-AR へ接続ください。

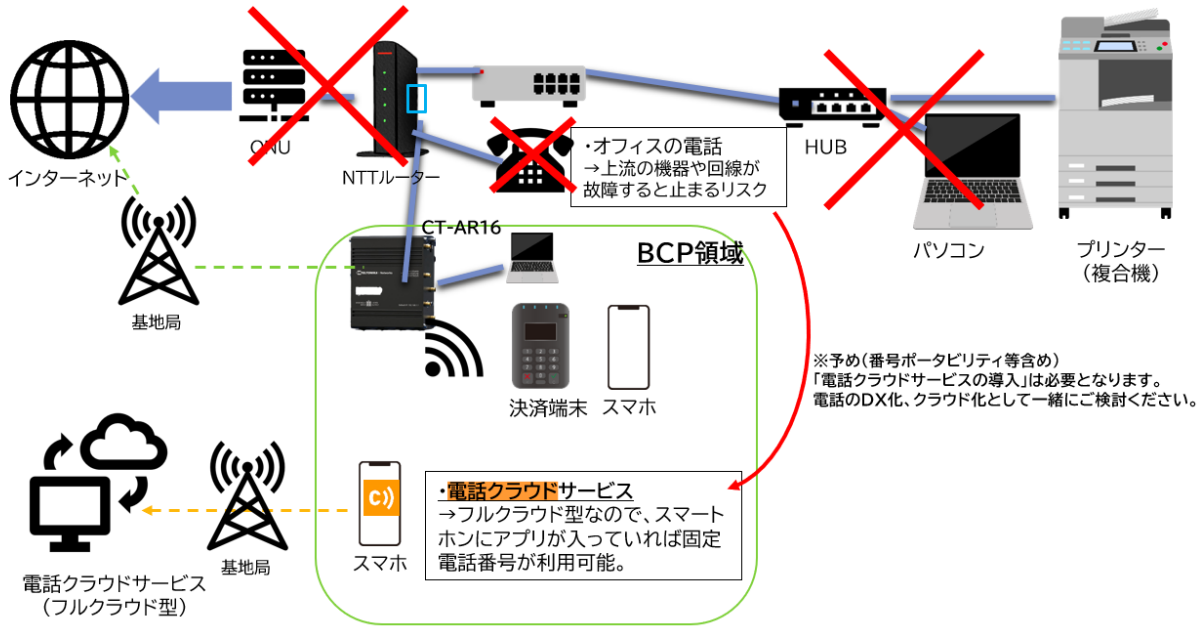
・それ以外の機器については光回線故障時に CT-AR へ繋ぎ直すだけで利用可能です。

・CT-AR が 100Mbps 対応機器のため、インターネット速度を重視されるユーザー様（大容量通信を頻繁に行うなど）は特にこちらを推奨いたします。



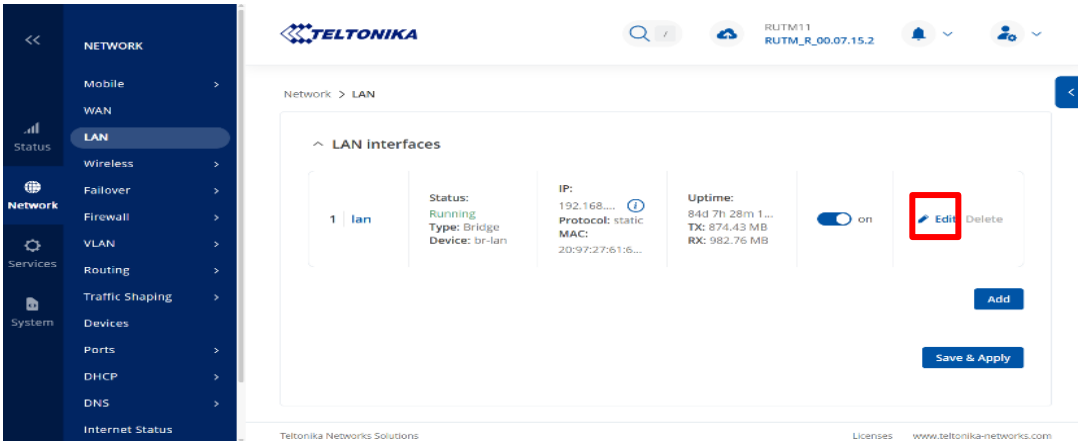
③ **（参考）電話サービスも DX・BCP 対策を行う場合（電話クラウドサービス併用型）**

・別途、電話クラウドサービスへのお申込が必要となります。



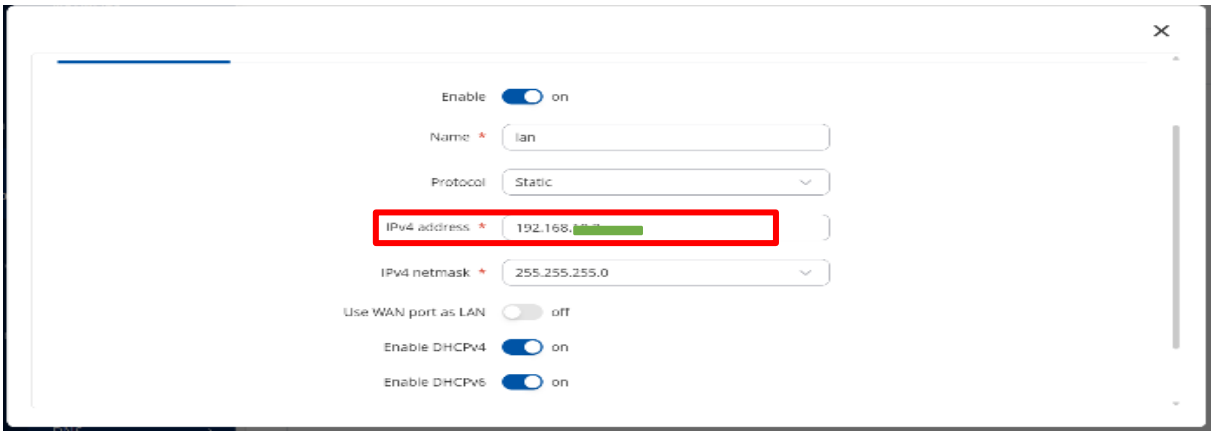
※IP アドレスの払い出し設定変更方法について

1. **NetWork 画面 ＞ LAN > LAN interfaces** 画面にて lan0 の横の Edit マークをクリック



2. **IPv4 Address** を 192.168.0.1 など任意へ変更

※Netmask は 255.255.255.0 のままで多くの場合問題ない。



→「Save＆Apply」を押して保存がされれば OK です

◆クラウドテレコム サポートセンター：https://support.mobabiji.jp/ivr/
Tel：03-6416-1182（ユーザー様 窓口）
※販売代理店専用窓口については、各販売代理店管理者様へお問い合わせください。
Mail：support@mobabiji.jp

受付時間：平日 10 時～18 時、メールは 24 時間受付にて順次回答いたします。